

令和4年度 三好市立学校評価報告書

作成日 令和4年3月24日

学校名(池田小学校)

校長名(高岡 和恵)

1 総括評価

評価分野	自己評価(平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・「池小生活スタンダード」により、基本的生活習慣の5つのめあてが習慣化してきたが、声かけをしないと守れていないこともあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「上野が丘だより」(学校だより)によって、学校の取組の成果がよく分かった。 ・HPの更新が以前よりすすんできたが、一部表示できないコンテンツが見受けられる。 ・池小教育に関する保護者アンケートについて、結果から原因・対策などがよく考察されている。 ・保護者の意見に対して一つ一つ真摯に対応しているのが素晴らしい。 ・コロナ禍で、タブレットを使ってのリモート学習をもっと活用していけたらいいと思う。 ・行事を中止にするのではなく、参観時間をずらしたり人数制限をしたりしながら、実施の工夫ができていた。また、タブレット等の活用により、参加できない家族に知らせるなどの工夫ができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「池小生活スタンダード」について、より児童の意欲を高めるために、来年度は児童会が呼びかける体制にする。 ・「池小学習スタンダード」については、めあての内容について、改善を加え、より実践しやすいものにしていく。 ・コロナ禍で行った行事の開催方法で、そのまま実施したらいいものについては、従来に戻さず、縮小して効果的な形で実施していく。 ・学校運営協議会も2年目に入るので、運営の仕方について、スムーズに機能するようにしていく。 ・他の小学校との交流や外部講師からの授業など、オンライン学習の活用を増やしていく。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・「池小学習スタンダード」については、5つのめあてについて改善の必要がある。 ・コロナ禍であったが、参観日や運動会、表現会での交代制による参観を実施。表現会ではタブレットでの視聴も試みた。行事の運営方法について状況をみて工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会が発足し、環境整備や学習指導への協力を得ることができ、地域との新たな連携を築けた。 ・タブレット活用は手探りで始まったが、教員の努力で活用が定着してきた。コロナ感染の臨時休校時には、動画教材の視聴やチャットによる質問、タブレットへ課題やプリントを送るなど、学年に応じて活用することができた。 	
③ 主要な教育活動に関する評価	3.3			
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.5			
⑤ その他、上記以外に関する評価(タブレット、ICTの活用)	3.5			

- (1) 評価基準については、次の通りとする
- 評価基準 4=達成度が 90～100 %
 3=達成度が 70～ 90 %
 2=達成度が 50～ 70 %
 1=達成度が 50% 未満

- (2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の1～5の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。
- (3) 総括評価の「評価分野」及び分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。
- (4) 分野別評価の「自己評価結果の概要」欄については、特に評価が 4 及び 1 について記入する。
- (5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会において評価された結果をまとめたものを記入する。
- (6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。